



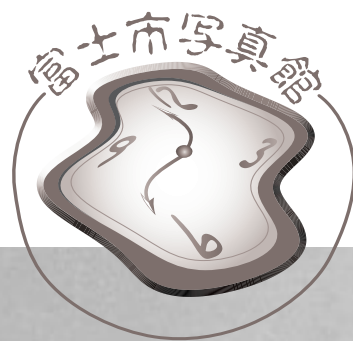
現在の様子

= 44 =

とみやすばし

富安橋

昭和44年10月28日
(中央病院南側)



江戸時代から渡り継がれてきた橋

静雄さん この橋は、東海道で重要な役割を担ってきた歴史ある橋です。現在の橋は昭和9年につくられました。かつては木製で、潤井川がはらんすると流されてしまったこともあったそうです。

このあたりでは、この橋を「三度橋」と呼ぶ人もいるんですよ。三度橋というのは、橋のほともとの名前です。その由来は、江戸時代、京と江戸の間を、1か月に3度行き来していた飛脚の願いで架けられた橋だからと聞いています。

私はかつて米屋を営んでいたのですが、吉原地区へ配達に行くときには、いつもこの橋を渡っていました。それこそ、1日3度どころではなかったですね。江戸時代から現在にかけて、富士地区と吉原地区をつなぐ、本当に大切な橋です。

信子さん 現在、橋の周囲には住宅をはじめ、中央病院やロゼシアターなどいろいろな建物が建っていますが、昔はあたり一面田んぼで、橋の上に立てば、周囲を遠くまで見渡すことができましたよ。街並みは一変しましたが、橋のありがたみは、ここから見える富士山のように、今も変わりませんね。



富安橋の近くにお住まいの
水野 静雄さん
信子さん(蓼原町)

こちら編集室

連日のように猛暑が続いたことしの夏。多治見市や熊谷市では、気象庁観測史上で最高40.9度を観測しました。さて、この「猛暑日」という言葉、最高気温が35度を超える日のことをあらわしますが、11年ぶりの予報用語の改正でことし4月に定義された新語だそうです。11年

前までは、30度以上の気象を表現する「真夏日」で事足りていたのかと思うと、近年の地球温暖化を考えずにはいられません。もしかして、10年後には40度以上をあらわす予報用語が誕生するのでしょうか？40度…高熱です。簡単にできるエコ生活から始めましょう！(M)

人口 243,859人 (前月比+114)
男 121,163人 (+67)
女 122,696人 (+47)
世帯 88,755世帯 (+98) 8月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ☎0545-51-1456



平成19年9月5日号(毎月5日・20日発行)

ホームページ <http://fujishi.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています